



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月28日

上場会社名 株式会社テラプローブ 上場取引所 東  
 コード番号 6627 URL http://www.teraprobe.com/  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 雄一郎  
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 CFO (氏名) 神戸 一仁 (TEL) 045-476-5711  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

## 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日) (百万円未満切捨て)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	10,662	△1.2	540	667.2	563	1,028.7	△114	—
26年3月期第2四半期	10,792	△6.2	70	△85.0	49	△83.6	34	△90.6

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 434百万円( 46.6%) 26年3月期第2四半期 296百万円( 13.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△12.33	—
26年3月期第2四半期	3.68	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	34,340	23,254	59.7	2,208.04
26年3月期	33,514	22,671	60.5	2,185.93

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 20,495百万円 26年3月期 20,290百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—

## 3. 平成27年3月期第3四半期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

当社グループが属する半導体業界は市場環境が短期間に変化するという特徴があり、1年間の業績予想を作成することが困難であります。従いまして、当社グループの連結業績予想につきましては、翌四半期の業績予想のみを開示することといたします。

また、通期業績予想を作成することが困難であるため、配当予想についても開示いたしておりません。

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第3四半期(累計)	16,000	△2.6	700	21.6	690	23.7	△600	—	△64.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.4「サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.4「サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

27年3月期2Q	9,282,500株	26年3月期	9,282,500株
27年3月期2Q	83株	26年3月期	83株
27年3月期2Q	9,282,417株	26年3月期2Q	9,282,458株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

発行済株式数に関する注記

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(5) 重要な後発事象	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動からの回復が天候不順の影響などにより限定的となり、低調に推移いたしました。一方、輸出企業の収益や雇用・所得環境の改善が続くなど、一部には持ち直しの動きも見られました。

当社グループが属する半導体業界におきましては、スマートフォンや車載用途を中心に、需要は堅調に推移いたしました。

このような状況の下、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は10,662百万円(前年同期比1.2%減)、営業利益は540百万円(前年同期比667.2%増)、経常利益は563百万円(前年同期比1,028.7%増)となりました。四半期純損益につきましては、特別損失として青梅事業所の事業再構築に伴う事業構造改善費用297百万円が発生したことや合弁会社である台湾子会社の少数株主利益が220百万円となりましたことなどから114百万円の損失(前年同期は34百万円の利益)となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。なお、セグメント別の業績には連結調整額、為替換算レート調整額及びセグメント別に配分されない費用を含んでおりません。

#### ① メモリ事業

当第2四半期のメモリ事業は、台湾子会社における売上高が四半期として過去最高となったことに加え、国内においても前四半期と比較してテスト時間の長いモバイル製品向けの受託が増加したことなどにより、売上高、セグメント利益とも増加いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間のメモリ事業の売上高は7,499百万円(前年同期比4.9%減)、セグメント利益は1,685百万円(同96.0%増)となりました。

#### ② システムLSI事業

当第2四半期のシステムLSI事業のテスト受託につきましては、国内・台湾子会社ともに四半期の売上高が過去最高となりました。しかしながら、WLP・BUMP受託につきましては、BUMP受託が増加したもののWLP受託は既存品の受託が低調に推移いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間のシステムLSI事業の売上高は3,080百万円(前年同期比2.7%増)、セグメント損益は567百万円の損失(前年同期は163百万円の損失)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は34,340百万円となり、前連結会計年度末比825百万円の増加となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が612百万円、有形固定資産が228百万円それぞれ増加したことによるものです。

負債は11,086百万円となり、前連結会計年度末比243百万円の増加となりました。これは主に、設備投資のために長期借入金が増加した一方、返済によりリース債務が957百万円、短期借入金が増加した871百万円それぞれ減少したことによるものです。

純資産は23,254百万円となり、前連結会計年度末比582百万円の増加となりました。これは主に、当期は四半期純損失の計上となりましたが、退職給付債務の計算方法の変更に伴う調整により利益剰余金が33百万円、少数株主持分が377百万円、為替換算調整勘定が167百万円それぞれ増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は7,831百万円となり、前連結会計年度末比50百万円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、3,961百万円の純収入（前年同期比15.2%の収入増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費の計上3,053百万円、破産更生債権等の減少636百万円、補助金の受取409百万円により資金が増加したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、4,002百万円の純支出（前年同期比185.1%の支出増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出3,012百万円、定期預金の預入による支出1,800百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、65百万円の純支出（前年同期比96.0%の支出減）となりました。これは、長期借入れによる収入1,835百万円、短期借入れによる収入205百万円、セール・アンド・リースバック取引による収入373百万円、短期借入金の返済による支出1,149百万円、リース債務の返済による支出1,331百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期第3四半期における半導体市場につきましては、季節要因などから停滞気味に推移するものと予想しております。

このような状況のもと、メモリ事業につきましては受託数量は堅調に推移するものの、テスト時間の短縮が進むものと予想しております。システムLSI事業につきましては、テスト受託、WLP・BUMP受託とも受託数量がやや弱含みで推移するものと予想しております。

これらの結果、当社グループの第3四半期連結累計期間の業績は、売上高が16,000百万円、営業利益が700百万円、経常利益が690百万円、当期純損益は600百万円の損失と予想しております。

なお、上記予想には今年度に完了予定である青梅事業所の構造改革に伴う事業構造改善費用として、特別損失約700百万円を織り込んでおります。但し、事業構造改善費用は今後の進捗により変化する可能性があり、状況が変化した場合は別途お知らせいたします。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を残存勤務期間に基づく割引率から単一の加重平均割引率へ変更し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付に係る負債が147,902千円減少し、利益剰余金が147,902千円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ8,697千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,782,585	3,831,992
売掛金	3,708,986	4,321,359
有価証券	5,799,587	5,699,506
製品	11,883	18,614
仕掛品	250,789	222,013
原材料及び貯蔵品	125,854	122,683
その他	1,140,810	580,283
流動資産合計	13,820,497	14,796,453
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	12,899,946	12,606,306
その他(純額)	5,317,528	5,839,505
有形固定資産合計	18,217,475	18,445,811
無形固定資産	479,413	451,859
投資その他の資産		
その他	1,227,019	646,377
貸倒引当金	△230,007	△103
投資その他の資産合計	997,012	646,273
固定資産合計	19,693,901	19,543,944
資産合計	33,514,398	34,340,398
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	852,909	1,174,609
短期借入金	1,895,503	1,023,748
リース債務	2,534,961	2,596,232
未払法人税等	105,361	143,469
早期退職費用引当金	111,740	-
賞与引当金	476,122	517,137
その他	1,709,531	1,649,493
流動負債合計	7,686,128	7,104,691
固定負債		
長期借入金	-	1,925,209
リース債務	2,196,232	1,177,382
退職給付に係る負債	338,580	218,409
その他	621,806	660,594
固定負債合計	3,156,619	3,981,595
負債合計	10,842,748	11,086,286

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,823,312	11,823,312
資本剰余金	11,380,267	11,380,267
利益剰余金	△2,996,890	△2,963,432
自己株式	△62	△62
株主資本合計	20,206,627	20,240,084
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	122,852	290,107
退職給付に係る調整累計額	△38,769	△34,216
その他の包括利益累計額合計	84,083	255,890
少数株主持分	2,380,939	2,758,136
純資産合計	22,671,650	23,254,112
負債純資産合計	33,514,398	34,340,398

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	10,792,758	10,662,814
売上原価	9,690,113	9,040,294
売上総利益	1,102,644	1,622,520
販売費及び一般管理費	1,032,128	1,081,538
営業利益	70,515	540,981
営業外収益		
受取利息	3,273	4,387
為替差益	4,867	37,296
設備賃貸料	22,088	29,181
貸倒引当金戻入額	59,906	19,787
その他	7,851	20,293
営業外収益合計	97,986	110,947
営業外費用		
支払利息	67,818	55,807
その他	50,764	32,700
営業外費用合計	118,582	88,508
経常利益	49,919	563,420
特別利益		
固定資産売却益	538	22,763
特別利益合計	538	22,763
特別損失		
固定資産売却損	960	-
固定資産除却損	1,689	1,692
減損損失	-	34,336
事業構造改善費用	-	296,823
特別損失合計	2,649	332,853
税金等調整前四半期純利益	47,808	253,331
法人税等	△12,277	151,276
少数株主損益調整前四半期純利益	60,086	102,054
少数株主利益	25,901	216,500
四半期純利益又は四半期純損失(△)	34,184	△114,445

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主利益	25,901	216,500
少数株主損益調整前四半期純利益	60,086	102,054
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	236,393	327,951
退職給付に係る調整額	-	4,552
その他の包括利益合計	236,393	332,504
四半期包括利益	296,479	434,558
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	154,745	57,362
少数株主に係る四半期包括利益	141,734	377,196

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	47,808	253,331
減価償却費	4,153,594	2,800,583
減損損失	-	34,336
事業構造改善費用	-	296,823
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△217,104	△229,903
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	27,731
引当金の増減額(△は減少)	△86,099	△79,661
受取利息	△3,273	△4,387
支払利息	67,818	55,807
設備賃貸料	△22,088	△29,181
固定資産除売却損益(△は益)	2,111	△21,071
売上債権の増減額(△は増加)	△318,485	△548,494
破産更生債権等の増減額(△は増加)	165,007	636,709
たな卸資産の増減額(△は増加)	△30,927	28,528
仕入債務の増減額(△は減少)	1,530,335	230,927
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△1,714,484	△83,737
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△63,238	333,039
その他の固定負債の増減額(△は減少)	55,615	△52,875
その他	△1,906	27,864
小計	3,564,683	3,676,373
利息の受取額	3,265	4,103
利息の支払額	△67,818	△54,189
補助金の受取額	-	409,711
法人税等の還付額	7,731	-
法人税等の支払額	△68,394	△74,853
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,439,468	3,961,145
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△300,000	△1,800,000
定期預金の払戻による収入	300,000	300,000
有価証券の売却による収入	-	500,000
有形固定資産の取得による支出	△1,430,778	△3,012,290
有形固定資産の売却による収入	8,574	36,434
無形固定資産の取得による支出	△6,424	△36,428
設備賃貸料の受取額	24,755	22,909
その他	△104	△12,897
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,403,977	△4,002,272

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	-	205,818
短期借入金の返済による支出	-	△1,149,066
長期借入れによる収入	-	1,835,126
リース債務の返済による支出	△1,488,514	△1,331,529
セール・アンド・リースバック取引による収入	-	373,950
自己株式の取得による支出	△38	-
少数株主への配当金の支払額	△141,510	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,630,063	△65,701
現金及び現金同等物に係る換算差額	58,810	55,990
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	464,237	△50,837
現金及び現金同等物の期首残高	6,043,022	7,882,336
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,507,259	7,831,499

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	メモリ事業	システム LSI事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,883,631	2,851,438	10,735,069	57,688	10,792,758
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	146,370	146,370	△146,370	—
計	7,883,631	2,997,809	10,881,440	△88,682	10,792,758
セグメント利益又は損失(△)	860,000	△163,440	696,560	△626,044	70,515

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△626,044千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△671,010千円、連結消去47,295千円、円換算に用いた為替相場の相違による差異調整額△2,329千円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに属していない一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	メモリ事業	システム LSI事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,499,873	3,080,108	10,579,982	82,831	10,662,814
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,499,873	3,080,108	10,579,982	82,831	10,662,814
セグメント利益又は損失(△)	1,685,370	△567,182	1,118,187	△577,206	540,981

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△577,206千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△644,023千円、連結消去47,088千円、円換算に用いた為替相場の相違による差異調整額19,728千円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに属していない一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

「2. サマリ情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の「メモリ事業」のセグメント利益が2,382千円増加し、「システムLSI事業」のセグメント利益が4,880千円増加し、「調整額」のセグメント利益が1,434千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

システムLSI事業

青梅事業所において、事業の構造改革に伴い廃棄する予定の固定資産について減損損失を計上しており、特別損失の事業構造改善費用に含めて表示しております。なお、当該損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては110,385千円であります。

また、九州事業所において、当初予定していた用途での利用見込みがなくなった固定資産について、処分予定資産として帳簿価額を回収可能額まで減損し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては34,336千円であります。

(5) 重要な後発事象

該当事項はありません。